



MC-JAPAN デュアルスポーツ小豆島 26 開催レポート
2019年4月13 - 14日
小豆島ふるさと村

晴と雨 オンとオフ 二つのデュアルが重なった日。

今年は春開催となった MC-JAPAN デュアルスポーツ。今年は快晴、そして雨という真逆の天気となりました。季節は違えど小豆島はいつものように 123 人のライダーを迎えてくれました。毎年中身は変わらないのになぜか毎年新しい感情が生まれてどこか新鮮、そんな 26 回目のデュアルスポーツイベントレポートです。



デュアルスポーツ小豆島 25
2019年4月13 - 14日
小豆島ふるさと村
PHOTO&TEXT: office acition



by
office action
<http://www.office-action.jp>

事前準備、これが意外と大変でした



▲背中にチェーンソーを背負って移動。倒木を切って切って切りまくる。



▲準備の際に走行したGPSログ。本番とほぼ同じコースだが要した時間は2倍以上。安全に走ってもらうためにしっかり。
▼忘れてはいけないのが許可申請。ここからすべてがはじまる。今年も安全運転を条件に許可していただきました。

DAY1、快晴。やっぱり小豆島は晴れがいい。さあ、おもいきり楽しもう。

初日はちよつと長めのコース設定。ゆつくり楽しく走ってほしい、そして早く予定を終えたら小豆島をバイク以外でも楽しんで欲しいということからスタートもちよつと早めに設定しました。ルートはスカイラインから粟地ダムへの下りの林道コース。こゝは地権者との話し合いによりバイク走行で荒れた道の修復費用として参加の皆さんからお気持ちを町役場を通じて地権者組合にお渡ししています。今回も受付でお預かりしたみなさまの愛、28050円をお届けしてきました。「協力ありがとうございました」。

一の日のルートの目玉は名物「亀岩」。近年は取り付きの地面が掘れて難易度が上がってしまいました。雨が降るとこのコース自体をキャンセルするほど。それにもかかわらず今も人気のスポット。亀岩にはこれからもDSのアイドルとしてセンターをつとめていただきます。

DAY1のルートでは民家の軒先を通行させていただいています。今年も走行の許可をいただくために訪ねると応対してくれたのはいつもいらつしやる方とは違う方でした。改めて事情を説明したところ、「あー、あー、いっすよー」とは言っていたいたものなんだか気のない返事。迷惑だったかな、機嫌を損ねたかな、申し訳ないな、と思っておりました。が当日行ってみれば案内する矢印看板を作っで置いてくれていました。その優しさに心から感謝の気持ちがあふれました。ありがとうございます。



▶スタート前にラジオ体操。デュアル「スポーツ」ですから。一緒にいるわんちゃんもMC Japanのタロ店長。

▼名物亀岩にチャレンジ！バッチリ決まっているアプローチその結果は.....



▶レポート本文にも書いた通り民家の軒先を走らせていただいています。お住まいの方のお気遣いで矢印を作っていたいただいて本当にありがとうございます。こういった地元の皆様の協力でデュアルスポーツは成り立っているのです。



▲四方指、定番スポットでの写真撮影どんよりした空模様での素晴らしい景色なのです。
▶中間チェックポイントにて。楽しんでるよ！という気持ちが顔にしっかりと出ています。

すべての準備が完了し、毎年のように皆さんの笑顔をお迎えすることができました。この笑顔のためにスタッフは奮闘してくれています。暑からず寒からず。そして花の季節。今回はそんな時期を狙って日程を決めました。桜の開花が始まったタイミングで寒の戻りがあり、少し足踏みしてくれたおかげで桜吹雪の小豆島を走ることが出来ました。過去25回の中で初めてのことじゃないのかな？

事前準備でしっかりとコースを整え、桜満開の小豆島で今年ものライダーのみなさんをいつものようにお迎えすることができました。

1月から募集を開始して、3月には早々に満員御礼となりました。西は九州、東は遠く岩手から総勢123名がふるさと村に集まってきました。前回の秋開催から春開催に変わりましたが、季節が変わればこゝまで変わるのか、と思わせの彩りを見せてくれた小豆島。今回もきつと楽しいに違いありません。

そういえばここ数年、何かが変わってきたのを感じていました。大きな音のバイクがなくなり、交通ルールをしっかりと守って走っていただいている。なによりもこやかに楽しく走っていただいている。そして昨年からは始めたスタート前のフリーフィンゲでは拡声器を使わなくても聞こえるように、と静かに聞いていただいている。この小豆島をずっとこれからも走りたいたいと言っみなさんのお気持ちなのでしょうか、どれだけこのイベントを楽しみにしていただけているのか、しっかりと伝わってきました。



「フロントが当たったらガンってやってドーンって開けて登るねん」といって
 そうな亀岩の順番待ち作戦会議。



初日が終わり、思い思いの小豆島の夜を
 過ごした後のDAY2、朝からどんより曇
 り空。今日は雨の予報。なんとか昼間で降
 らずに持つてくれたらなんとかなるのに、と
 願いましたがそうはいきませんでした。今
 日のルートは短め。昨年はキャンセルとなつ
 たコースです。小豆島の最高峰、四方指か
 らの林間コース。降り出した雨で地面は滑
 る。ガレはある。また滑る。厳しいルート
 ではありましたが参加者同士で助け合いな
 がらクリア。舗装路に戻りチェックポイント
 を通過してほどなくゴール。やはり天気が

悔やまれる。でもこれもデュアルスポーツ
 晴れの楽しさは次回に取っておきましょう。
 ゴールすればお待ちかねの小豆島素麺「島
 の光」をお腹いっぱい食べて全行程が終了
 です。
 今回も皆さんのおかげでノントラブルでイ
 ベントを終えることが出来ました。27回
 目の開催に向けてスタッフは動き出します。
 楽しみにしててくださいね。また来年、
 皆さんを「ようこそ小豆島へ」という言
 葉とともに迎えたいと思います。そし
 て来年も春の開催にしようかな。

全面的に協力をいただいているMC-Japanさ
 ん。抽選会の商品も用意していただいています。

スタッフはもうひと仕事。港で先に帰る参加者の皆
 さんをお見送り。また来年も待っていますよ！

